

石田講師より『超直前期の過ごし方』

試験直前期にはどうしても、

「苦手な範囲」や『ポロっと出題された教科書に載っていないような細かい範囲』が気になるものです。

試験後に失敗したなと思わないために、

試験直前期の『仕上げ』は試験における配点を意識しましょう。

細かい範囲の奇問難問のような問題に時間をかけても、配点をほとんど持っていないので、試験で出くわす確率は限りなく低く、結果、合格に結びつくことはあまりありません。

これは「細かいところは直前期にやるな」と言っているわけではなく、

『頻出事項・配点の大きい範囲の学習をやめるな』と言いたいわけです。

要するに、今まで続けてきたような学習を継続しつつ、プラス  $\alpha$  で、他の範囲に手を出しましょうということです。

試験までの限られた時間の中で、自分が何をすべきなのか。

がむしゃらに過去問を解き続けるだけでも実力はつきますが、

最低限これはやろうという簡単な計画を立てておくと、

横道にそれたり、試験前に失速してしまうようなことを避けることができます。

試験前は精神面での戦いでもあるので、

「やるぞ」『受かるぞ』と強い気持ちをもって淡々と学習を進めましょう。

以上